



種名 : ヒイラギ *Nuchequula nuchalis*

分類 : 在来種 汽水・海水魚

○大きさ

- ・成魚：5～15cm

○生息箇所（すみか）

- ・利根川下流部の河口から利根川河口堰の下流側に多い。
- ・日本の沿岸から内湾、沿岸域の浅場に生息しています。
- ・砂泥底(さでいてい)の内湾や河口域を好みます。

○生態（どんな生活をしているか）

- ・底生動物(ゴカイやヨコエビ、エビ等)を食べます。
- ・繁殖期は春から初夏(5～7月)におこなわれます。

○釣りや漁業

- ・サビキでつれますが、キス釣りのような投げ釣りでも釣れます。群れで泳いでいるため1匹釣れるとたくさん釣れます。
- ・利根川下流域ではヒイラギに関する漁業は行われていませんが、刺しスズキ漁等の刺し網(さしあみ)や定置網(ていちあみ)で取れるようです。

○地域利用

- ・1回の漁獲量(ぎょかくりょう)は多いと考えられますが、水揚げが不定期(ふていき)なため、一般にはあまり出回っていないようです。
- ・春から初夏にかけて旬を迎える、たいへんおいしい魚です。お刺身や煮魚等、幅広い調理方法があります。